C3530 MFP　ユーザーズマニュアル

補足説明書

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

C3530 MFP

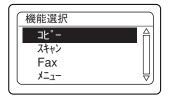
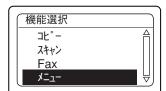
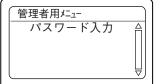
はじめに

このたびは沖データのカラーマルチファンクションプリンタC3530MFPをお買い上げいただきまして､誠にありがとうございます。本書はユーザーズマニュアル（応用編）の内容を補足するものです。ユーザーズマニュアル（応用編）とあわせてご覧ください。

目次

1 ネットワークの設定

DNS サーバの設定をします

スキャン To Eメール、スキャン To ネットワーク PC を使用するときに設定してください。
「SMTP サーバ」や「対象 URL」を IP アドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

❷ 操作パネルの ∨ キーを 3 回押し、[メニュー] を選択し、 > キーを押します。

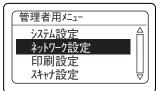
❸ ∨ キーを 2 回押し、[管理者用メニュー] を選択し、 > キーを押します。

❹「パスワード入力」と数秒表示した後、パスワード入力画面になるので、次の方法で [aaaaaa] と入力します。

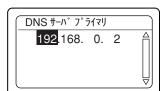
[aaaaaa] は工場出荷時に設定されているパスワードです。

∨ を 2 回押し、[a] を選択し、 ↵ を押します。左のような画面になります。

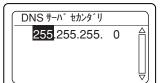
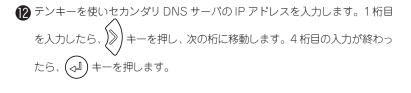
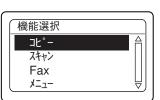
❺ 続けて、 ↵ キーを 5 回押します。（左のような画面になります。* が 6 個表示されました。）

❻ を 1 回押して［決定］を選択し、 キーを押します。

❼ 左の画面を表示するので、 キーを 1 回押して［ネットワーク設定］を選択し、 キーを押します。

❽［ネットワーク］を選択し、 キーを押します。

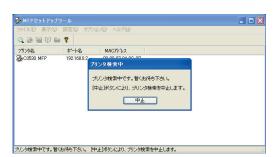
❾ キーを数回押して［DNS サーバ　プライマリ］を選択し、 キーを押します。

❿ テンキーを使い、プライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。1 桁目を入力したら、 キーを押し、次の桁に移動します。4 桁目の入力が終わったら、 キーを押します。

⓫ キーを 1 回押して［DNS サーバ　セカンダリ］を選択し、 キーを押します。

⑫ テンキーを使いセカンダリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。1 桁目を入力したら、▷キーを押し、次の桁に移動します。4 桁目の入力が終わったら、↵キーを押します。

⑬ ストップボタンを押し、機能選択画面に戻ります。

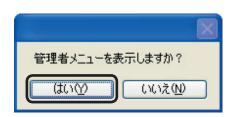
2 メールサーバの設定

メールサーバを設定します

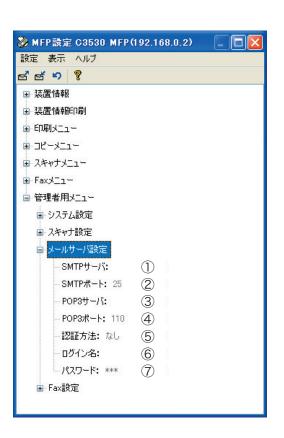
スキャン To E メールを使用する場合にメールサーバを設定します。
MFP セットアップツールでメールサーバを設定する方法を示します。
操作パネルや Web ブラウザでも設定できます。

❶ MFP セットアップツールを起動します。

［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows XP/Server 2003 以外では［プログラム］）-［沖データ］-［MFP セットアップツール］-［MFP セットアップツール］をクリックします。

❷ C3530MFP を選択し、「MFP 設定」のアイコンをクリックします。

❸ メニューの「表示」をクリックし、「管理者メニュー」をクリックします。

❹ 左記の確認メッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

❺ パスワードを入力し、［OK］をクリックすると、管理者メニューが表示されます。

パスワードは、MFP の管理者パスワードです。デフォルトは、「aaaaaa」です。

❻「管理者メニュー」をクリックし、「メールサーバ設定」をクリックします。

❼ メールサーバ設定内の各項目（①〜⑦）の設定を行います。

各設定項目の説明は下記の通りです。

①：SMTP サーバ（送信メールサーバ）の IP アドレス又はサーバ名を設定します。

②：SMTP サーバのポート番号を設定します。

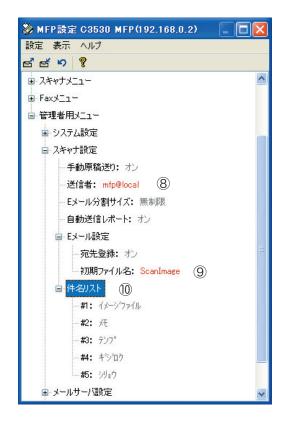
③：POP3 サーバ（受信メールサーバ）の IP アドレス又はサーバ名を設定します。

④：POP3 サーバのポート番号を設定します。

⑤：E メール送信時の認証方法を設定します。
メール送信時にサーバの認証が不要な場合は、“なし”, POP3 サーバ認証が必要な場合は、“POP3”，SMTP サーバ認証が必要な場合は、“SMTP” を設定します。

⑥：認証に使用するサーバへのログイン名を設定します。

⑦：認証に使用するサーバへのパスワードを設定します。

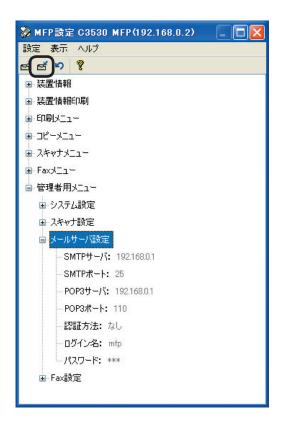
※現在使用されているメールサーバ設定の確認方法は、「メールサーバの設定を確認する方法」を参照ください。

❽「スキャナ設定」をクリックします。

❾ スキャナ設定内の各項目（⑧〜⑩）の設定を行います。

各設定項目の説明は下記の通りです。

⑧：E メールの From 欄に付与する初期の E メールアドレスを設定します。

⑨：E メールに添付されるイメージファイルの初期ファイル名を設定します（必須ではありません）。

⑩：E メール送信の際に頻繁に使用する件名がある場合に設定すると便利です（必須ではありません）。

❿ 設定項目①～⑩の設定が完了後、「変更した設定を適用」のアイコンをクリックします。

⓫ 確認メッセージが表示されます。「ＯＫ」をクリックします。

⓬ 設定が C3530MFP に反映されます。

「ＯＫ」をクリックし、C3530MFP の電源を OFF/ON します。

これで設定は完了です。

メールサーバの設定を確認したい

現在使用されているメールサーバの設定を確認します。
また、以下の説明では、Microsoft OutLook Express を使用します。

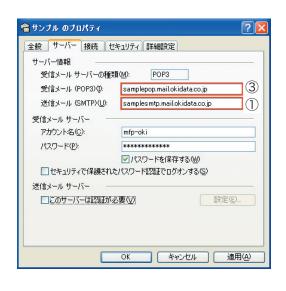
❶「ツール」－「アカウント」を選択し、「インターネット　アカウント」ダイアログを開きます。

❷「メール」タグを選択すると、使用しているアカウントの一覧が表示されます。

❸ C3530 MFP を接続するものと同じメールサーバを使用しているメールアカウントを選択し、「プロパティ」をクリックします。

❹「サーバ」タグを選択し、設定項目①，③を確認します。

①：SMTP サーバ (送信メールサーバ) の IP アドレス又はサーバ名。

③：POP3 サーバ (受信メールサーバ) の IP アドレス又はサーバ名。

❺ 11 ページの⑦に記載の設定項目⑤の認証方法は、下記の様に確認します。

送信メールサーバーの設定の “このサーバーは認証が必要” にチェックが付いていない場合、設定項目⑤を “なし” に設定します。

送信メールサーバーの設定で、“このサーバーは認証が必要” にチェックが付いている場合は、[設定（E)] をクリックし、送信メールサーバー設定ダイアログを表示します。

ログオン情報の“受信メールサーバーと同じ設定を使用する”にチェックが付いている場合、

設定項目⑤を “POP3” に設定します。

設定項目⑥に、POP3 サーバ（受信メールサーバ）へのログイン名を設定します。

設定項目⑦に、POP3 サーバ（受信メールサーバ）へのパスワードを設定します。

ログオン情報の“次のアカウントとパスワードでログオンする”にチェックが付いている場合、

設定項目⑤を“SMTP”に設定します。

設定項目⑥に、SMTP サーバ（送信メールサーバ）へのログイン名を設定します。

設定項目⑦に、SMTP サーバ（送信メールサーバ）へのパスワードを設定します。

❻「詳細設定」タグを選択し、設定項目②，④を確認します。

②：SMTP サーバのポート番号。

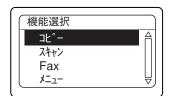
④：POP3 サーバのポート番号。

3 ファクス機能の説明

短縮ダイヤル番号、グループ番号でファクス送信の宛先を選択したい

あらかじめ登録しておいた短縮ダイヤル番号、グループ番号を選択して、ファクス送信の宛先を指定することができます。
短縮ダイヤル番号、グループ番号の登録については、ユーザーズマニュアル　セットアップ編の 78 ページをご覧ください。

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

❷ 操作パネルの　キーを 2 回押し［Fax］を選択し、　キーを押します。

❸ ［Fax 番号］を選択し、#ボタンまたは＊ボタンを押します。

ファクス番号入力画面になります。ファクス番号入力画面には既に入力された‘#’もしくは‘＊’が表示されます。

❹ 登録されている短縮ダイヤル番号、グループ番号を入力します。

‘#’もしくは‘＊’に続いて 2 桁の短縮ダイヤル番号もしくは、グループ番号をテンキーから入力し、　キーを押します。

ただし、短縮ダイヤル番号＃ 00 ～＃ 09 および、グループ番号 G00 ～ G09 を指定する場合は、＃ 0 ～ 9 および＊ 0 ～ 9 入力（1 桁目のみ入力）後の　キーによる選択が可能です。

注 送信宛先を選択することにより、選択済みの送信宛先が 100 件を超えてしまう場合は、　キーで入力した値はクリアされます。

❺ ファクス送信宛先の選択を行うと、継続確認画面が表示されます。

継続確認画面で［継続］へカーソルを移動し、　キーを押すと、ファクス番号入力画面に戻ります。

また、継続確認画面で［完了］へカーソルを移動し、　キーを押すと、Fax 待機画面になります。

注 選択済みの送信宛先が 100 件に達した場合は、継続確認画面で［継続］は表示されません。

電話帳に登録されている宛先を検索したい

電話帳に登録されている短縮ダイヤル、グループの検索を行います。
ファクス送信宛先の検索はテンキーで行います。また、検索の対象となるのは、電話帳登録時に入力した名前の先頭文字のみです。
テンキーが押されると、電話帳の登録宛先を名前順にソートし、テンキーで指定された文字と一致する文字で始まる名前を持つ短縮ダイヤルもしくは、グループの先頭にカーソルが移動します。

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

❷ 操作パネルの ∨ キーを 2 回押し［Fax］を選択し、 ＞ キーを押します。

❸ ∨ キーを 1 回押し［電話帳］を選択し、 ＞ キーを押します。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #

電話帳
G00 Abc グループ
G01 Bcd グループ
G02 Def グループ
G03 Efg グループ

❹ 電話帳表示画面で、検索する名前の頭文字をテンキーで入力します。

各テンキーに割り当てられている数値、英字および記号の切り替えは、同一テンキーを複数回押すことでできます。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #

電話帳
#02 Cde さん
#05 cgh さん
#03 Def さん
G03 Def グループ

❺ 入力された文字と、名前の先頭文字が一致する登録宛先が画面に表示されます。検索結果が表示されている状態から、別の文字で新たに検索を行いたい場合は、同様に検索したい文字をテンキーで入力することができます。

ダイヤル番号について

ファクスを送信する時に入力する相手先のダイヤル番号、記号について説明します。

1. 入力できるダイヤル番号、記号
   0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, ＊, #, ＋, P, ー,

2. ＊ …… 回線設定 トーンの場合 → 回線に対し＊を送出します。
   …… 回線設定 パルスの場合 → ＊以降のダイヤルは、トーンに切替ります。

3. # …… 回線設定 トーンの場合 → 回線に対し＃を送出します。
   …… 回線設定 パルスの場合 → 無視されます。

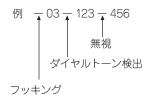
4. ＋ …… 回線設定に関係なく無視されます。

5. P …… 回線設定に関係なく 1 個あたり 2 秒のポーズが入ります。

6. ー …… ダイヤルトーン検出オンの場合 → 電話番号の途中に入れた時、無視されます。
   電話番号の最初に入れた時、フッキングします。
   例　ー 03 ー 123 ー 456
   無視　無視
   フッキング

   …… ダイヤルトーン検出オフの場合 → 電話番号の途中に入れた時、次にダイヤルトーンを検出します。

注 P82「FAX エラーコード／結果コードについて」を参照して下さい。

電話番号の最初に入れた時、フッキングします。
例　ー 03 ー 123 ー 456
無視
ダイヤルトーン検出
フッキング

注 電話帳に登録した番号も、同じ動作をします。

4 スキャン To USB メモリ機能の説明

保存形式を変更してスキャンしたい

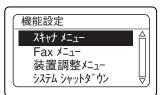
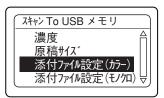
スキャンして USB メモリに保存する場合、必要に応じてファイル形式や圧縮レベルを変更することができます。

カラーでスキャンし USB メモリに保存する場合

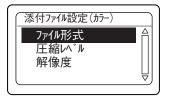
❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

❷ 操作パネルの キーまたは キーを数回押し、「メニュー」を選択し、 キーを押します。

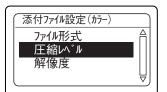
❸ キーまたは キーを数回押し、「スキャナ　メニュー」を選択し、 キーを押します。

❹ キーまたは キーを数回押し、［スキャン To USB メモリ］を選択し、 キーを押します。

❺ キーまたは キーを数回押し、［添付ファイル設定（カラー）］を選択し、 キーを押します。

ファイル形式の変更

❶ キーまたは キーを数回押し、［ファイル形式］を選択し、 キーを押します。

❷ 希望するファイル形式を選択し、 キーを押します。

圧縮レベルの変更

❶ キーまたは キーを数回押し、[圧縮レベル］を選択し、 キーを押します。

❷ 希望する圧縮レベルを選択し、 キーを押します。

メモ 保存形式の設定は、MFP セットアップツールまたは Web ブラウザからも変更できます。詳しくは、MFP セットアップツールのヘルプをご覧ください。

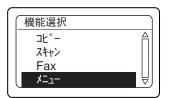
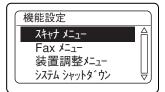
［設定できるファイル形式］
PDF（工場出荷時の設定値）
TIFF
JPEG

［設定できる圧縮レベル］
・ファイル形式が PDF または JPEG の場合
低（工場出荷時の設定値）
中
高
・ファイル形式が TIFF の場合
Raw 形式

モノクロまたはグレーでスキャンして USB メモリに保存する場合

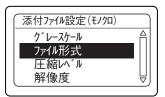
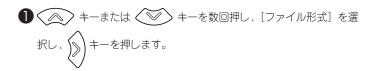
❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

❷ 操作パネルの キーまたは キーを数回押し、「メニュー」を選択し、 キーを押します。

❸ キーまたは キーを数回押し、「スキャナ　メニュー」を選択し、 キーを押します。

❹ キーまたは キーを数回押し、［スキャン To USB メモリ］を選択し、 キーを押します。

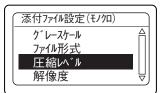
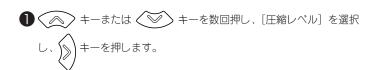
❺ キーまたは キーを数回押し、[添付ファイル設定（モノクロ）]を選択し、 キーを押します。

ファイル形式の変更

❶ キーまたは キーを数回押し、［ファイル形式］を選択し、 キーを押します。

❷ 希望するファイル形式を選択し、 キーを押します。

※［JPEG］は「グレースケール」がオンの場合に表示されます。

圧縮レベルの変更

❶ キーまたは キーを数回押し、［圧縮レベル］を選択し、 キーを押します。

❷ 希望する圧縮レベルを選択し、 キーを押します。

メモ 「グレースケール」がオンの場合、圧縮レベルは、低 , 中 , 高と表示されます。

注 ［待機モード移行時間］で設定した時間内に「スタート」ボタンを押してスキャンを始めてください。
ボタンを押さずに、［待機モード移行時間］で設定した時間が経過すると、詳細設定はクリアされてしまいます。
再度、❶からの手順を行う必要があります。
［待機モード移行時間］の設定方法については、ユーザーズマニュアル（応用編）の 5 章「知っていると便利です」の「待機モードに移行するまでの時間を変更したい」をご覧ください。

メモ 保存形式の設定は、MFP セットアップツールまたは Web ブラウザからも変更できます。詳しくは、MFP セットアップツールのヘルプをご覧ください。
MFP セットアップツールまたは Web ブラウザから変更した設定は、［待機モード移行時間］で設定した時間が経過しても、クリアされることはありません。

ファイルフォーマット

「グレースケール」がオフの場合

［設定できるファイル形式(モノクロ)］
- PDF（工場出荷時の設定値）
- TIFF

［設定できるファイル形式（モノクロ)］
- G3
- G4（工場出荷時の設定値）
- Raw 形式

「グレースケール」がオンの場合

［設定できるファイル形式(モノクロ)］
- PDF（工場出荷時の設定値）
- TIFF
- JPEG

［設定できる圧縮レベル（モノクロ)］
- ・ファイル形式が PDF または JPEG の場合
  - 低（工場出荷時の設定値）
  - 中
  - 高
- ・ファイル形式が TIFF の場合
  - Raw 形式（工場出荷時の設定値）

スキャン To USB メモリの解像度を変更したい

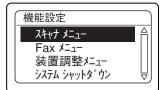
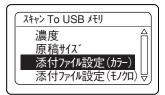
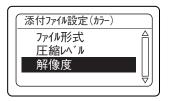
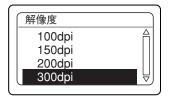
スキャン To USB メモリでの読み込み解像度を変更することができます。
解像度の設定を変更することで、スキャンしたイメージの画質やファイルサイズを調整することができます。解像度が高いほど画質は原稿に近いものになります。

❶ 操作パネルの キーを数回押して、「メニュー」を選択し、 キーを押します。

❷ キーを数回押して、「スキャナ　メニュー」を選択し、 キーを押します。

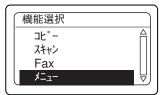
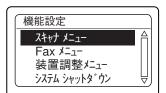
❸「スキャン To USB メモリ」が選択されていることを確認し、 キーを押します。

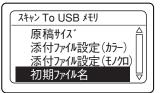
❹ キーを押して、「添付ファイル設定(カラー)」または「添付ファイル設定(モノクロ)」を選択し、 キーを押します。

❺ キーを押して、「解像度」を選択し、 キーを押します。

❻ キーまたは キーを押して、設定したい解像度を選択し、 キーを押します。

選択した値が設定されます。

メモ　解像度の設定は、MFP セットアップツールまたは Web ブラウザからも変更できます。詳しくは、MFP セットアップツールのヘルプをご覧ください。

スキャン To USB メモリの初期ファイル名を変更したい

スキャン To USB メモリ実行時に、ファイル名を指定しなかった場合に使用されるファイル名を変更します。

❶ 操作パネルの キーを数回押して、「メニュー」を選択し、 キーを押します。

❷ キーを数回押して、「スキャナ　メニュー」を選択し、 キーを押します。

❸ キーを数回押して、「スキャン To USB メモリ」が選択されていることを確認し、 キーを押します。

❹ キーを数回押して、「初期ファイル名」を選択し、 キーを押します。

❺ 希望するファイル名を入力し、［決定］を選んで キーを押します。

ADF を使わずに、複数枚の原稿をまとめてスキャンしたい

C3530MFP は、スキャナ部の原稿台で、複数枚の原稿を一度にスキャンする機能を備えています。
しわや反りのある原稿や厚い原稿など、ADF（オートドキュメントフィーダ）で読み取りできない複数枚の原稿を一度にスキャンしたい場合などに、この機能を使えます。

この機能は、スキャンして E メールを送信する場合やスキャンしてサーバに転送する場合またはスキャンして USB メモリに保存する場合にのみ使えます。
コピーには、このような機能はありません。

設定方法

❶ 操作パネルの ▽ キーを数回押して、「メニュー」を選択し、 ▷ キーを押します。

❷ ▽ キーを押して、「管理者用メニュー」を選択し、 ▷ キーを押します。

パスワードを入力します。

❸ ▽ キーを押して、「スキャナ設定」を選択し、 ▷ キーを押します。

❹「手動原稿送り」を選択し、 ↵ キーを押します。

❺ △ キーまたは ▽ キーを押して、「オン」を選択し、 ↵ キーを押します。

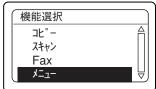
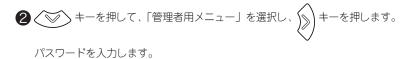
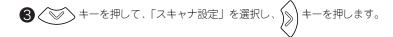
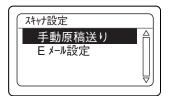
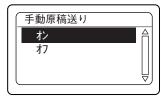
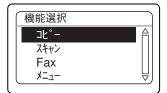
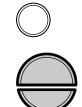
メモ

手動原稿送りモードの設定は､MFP セットアップツールまたは Web ブラウザからも行うことができます。詳しくは､MFP セットアップツールのヘルプをご覧ください。
MFP セットアップツールまたは Web ブラウザから変更した設定は、［待機モード移行時間］で設定した時間が経過しても、クリアされることはありません。

スキャン方法

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

❷ キーを 1 回押し、［スキャン］を選択し、キーを押します。

❸ キーを 1 回押し、［USB メモリ］を選択し、キーを押します。

❹ ファイル名、濃度、原稿サイズを設定します。

❺ 原稿を原稿台に置き、カラースタートボタンまたはモノクロスタートボタンを押します。

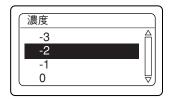
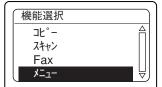
❻ ❺を繰り返します。

❼ 最後の原稿を読み取り終わったら、キーを押します。

❽ ファイルが USB メモリに保存されます。

注 ［待機モード移行時間］で設定した時間内に「スタート」ボタンを押してスキャンを始めてください。
ボタンを押さずに、［待機モード移行時間］で設定した時間が経過すると、詳細設定はクリアされてしまいます。
再度、❶からの手順を行う必要があります。
［待機モード移行時間］の設定方法については、5 章「知っていると便利です」の「待機モードに移行するまでの時間を変更したい」をご覧ください。

スキャン To USB メモリの設定内容の初期値を変更したい

読み取り濃度の設定方法

❶ 操作パネルの キーを数回押して、「メニュー」を選択し、 キーを押します。

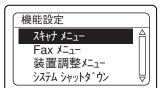
❷ キーを数回押して、「スキャナ　メニュー」を選択し、 キーを押します。

❸ キーを数回押して、「スキャン To USB メモリ」を選択し、 キーを押します。

❹「濃度」を選択し、 キーを押します。

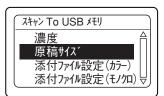
❺ キーまたは キーを押して、希望する読み取り濃度値へカーソルを移動し、 キーを押します。

原稿サイズの設定をします

❶ 操作パネルの ▽ キーを数回押して、「メニュー」を選択し、▷ キーを押します。

❷ ▽ キーを数回押して、「スキャナ　メニュー」を選択し、▷ キーを押します。

❸ ▽ キーを数回押して、「スキャン To USB メモリ」を選択し、▷ キーを押します。

❹ ▽ キーを押して、「原稿サイズ」を選択し、▷ キーを押します。

❺ △ キーまたは ▽ キーを押して、希望する原稿サイズへカーソルを移動し、↵ キーを押します。

❻ 初期設定が保存されます。

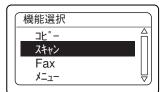
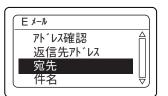
5 スキャン To E メール機能の説明

Eメールアドレス番号および、グループ番号で、Eメール送信宛先の選択をしたい

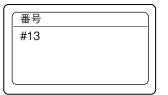
❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

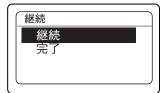
❷ 操作パネルの ∨ キーを1回押し、[スキャン] を選択し、 ＞ キーを押します。

❸ [E メール] を選択し、 ＞ キーを押します。

❹ [宛先] を選択し、 ＞ キーを押します。

❺ ∨ キーを2回押し、[番号] を選択し、 ＞ キーまたはテンキーの # ボタンもしくは ＊ ボタンを押します。

テンキーの # ボタンもしくは ＊ ボタンを押すと番号入力画面になります。番号入力画面上には、既に入力された‘#’もしくは‘＊’が表示されます。

なお、選択済みの送信宛先が100件に達している場合は、番号入力画面は表示されません。

❻ ‘#’または‘＊’に続いて2桁のEメールアドレス番号もしくは、グループ番号をテンキーから入力し、 ↵ キーを押します。

ただし、Eメールアドレス番号#00～#09および、グループ番号G00～G09を指定する場合は、#0～9および＊0～9入力後の ↵ キー押しで選択が可能です。

❼ 選択したＥメールアドレスの宛先はＴoに設定され継続確認画面が表示されます。継続確認画面で「継続」を選択して ⏎ キーを押すと、番号画面に戻ります。

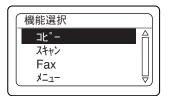
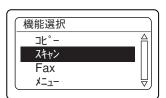
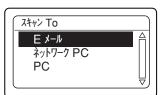
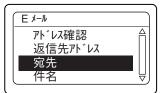
また、「完了」を選択して ⏎ キーを押すと、Ｅメール待機画面となります。

なお、選択済みの送信宛先が100件に達している場合は、継続確認画面で「継続」は表示されません。

アドレス帳に登録されている宛先を検索したい

アドレス帳に登録されている E メールアドレス、グループアドレスおよび、LDAP サーバから取得した E メールアドレスの検索を行います。E メール送信宛先の検索はテンキーで行います。また、検索の対象となるのは、アドレス帳登録時に入力した名前および LDAP 検索結果の名前の先頭文字のみです。
テンキーが押されると、アドレス帳の登録宛先および LDAP 検索結果を名前順にソートし、テンキーで指定された文字と一致する文字で始まる名前を持つ E メールアドレスもしくは、グループアドレスの先頭にカーソルが移動します。

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

❷ 操作パネルの キーを 1 回押し、[スキャン] を選択し、 キーを押します。

❸ [E メール] を選択し、 キーを押します。

❹ [宛先] を選択し、 キーを押します。

❺ [アドレス帳] を選択し、 キーを押します。

ｱﾄﾞﾚｽ帳
G00 Abc グループ
G01 Bcd グループ
G02 Def グループ
G03 Efg グループ

❻ アドレス帳表示画面で、検索する名前の頭文字をテンキーで入力します。

各テンキーに割り当てられている数値、英字および記号の切り替えは、同一テンキーを複数回押すことでできます。

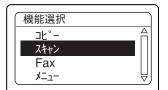
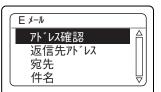
ｱﾄﾞﾚｽ帳
#02 Cde さん
#05 cgh さん
#03 Def さん
G03 Def グループ

❼ 入力された文字と名前の先頭文字が一致する登録宛先が画面に表示されます。
検索結果が表示されている状態から、別の文字で新たに検索を行いたい場合は、同様に検索したい文字をテンキーで入力することができます。

Eメール送信宛先を確認したい

指定されたEメール送信宛先は、Eメール待機画面の「アドレス確認」を選択することにより表示されます。アドレス確認画面では、指定されたEメール送信宛先の削除ができます。

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

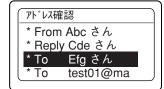
❷ 操作パネルの キーを1回押し、［スキャン］を選択し、 キーを押します。

❸［Eメール］を選択し、 キーを押します。

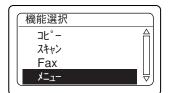
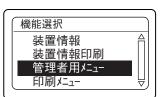
❹［アドレス確認］を選択し、 キーを押します。

指定されたEメール送信宛先の一覧が表示されます。

❺ キーおよび キーを押して、Eメール送信をキャンセルしたいEメール送信宛先へカーソルを移動し、 キーを押します。

キャンセル（'*' 表示を解除）したEメール送信宛先を再度選択する場合は、 キーを再度押します。

❻ 宛先確認操作を完了するには、 キーを押して、Eメール待機画面へ戻ります。

よく使う件名を登録したい

件名リストに、よく使う件名をあらかじめ登録しておき、送信時に選択して使用することができます。
件名リストは最大 5 件までの登録が可能です。
また、件名には半角文字で最大 64 文字までの入力が可能です。

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

❷ 操作パネルの キーを 3 回押し、[メニュー] を選択し、 キーを押します。

❸ キーを 2 回押し、[管理者用メニュー] を選択し、 キーを押します。

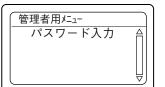
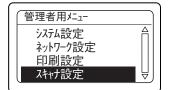
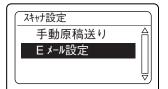
❹「パスワード入力」と数秒表示した後、パスワード入力画面になるので、次の方法で [aaaaaa] と入力します。

[aaaaaa] は工場出荷時に設定されているパスワードです。

を 2 回押し、[a] を選択し、 を押します。左のような画面になります。

❺ 続けて、 キーを 5 回押します。(左のような画面になります。* が 6 個表示されました。)

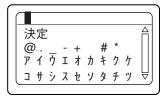
❻ キーを 1 回押して［決定］を選択し、 キーを押します。

❼ 左の画面を表示するので、 キーを 3 回押して［スキャナ設定］を選択し、 キーを押します。

❽ キーを 1 回押して［E メール設定］を選択し、 キーを押します。

❾ キーを 2 回押して［件名リスト］を選択し、 キーを押します。

件名リストが表示されます。

❿ 件名リストが未登録の場合は #xx（xx：00 ～ 04）と表示され、既に件名が登録済みの場合は #xx の代わりに登録済みの件名が表示されます。

⓫ キーおよび キーを押してカーソルを登録箇所へ移動して、 キーを押します。

直接入力画面が表示されます。

⓬ 件名文字列を入力が終わったら、「決定」を選択して キーを押します。

件名リストが表示され、#xx の代わりに入力済みの文字列が表示されます。

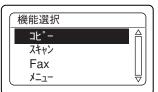
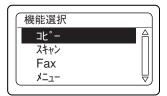
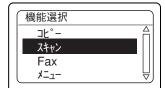
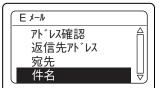
⓭ 入力済みの件名を編集する場合はカーソルを希望する件名に移動して、 キーを押します。

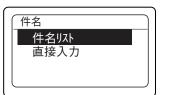
表示された直接入力画面の入力行（1 行目）に入力済みの文字列が表示されるので、文字列の編集後は「決定」を選択して キーを押します。

⑭ ストップボタンを押し、機能選択画面に戻ります。

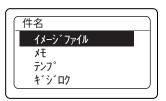
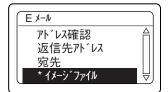
件名リストから件名を選択したい

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

❷ 操作パネルの キーを 1 回押し［スキャン］を選択し、 キーを押します。

❸［E メール］を選択し、 キーを押します。

❹ 操作パネルの キーを 1 回押し［件名］を選択し、 キーを押します。

❺［件名リスト］を選択し、 キーを押します。

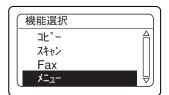
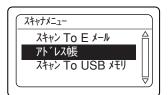
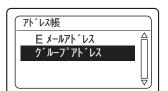
登録済みの件名リストが表示されます。

❻ 表示された件名リストから希望する件名へ キーおよび キーを用いてカーソルを移動させ、 キーを押します。

❼ 件名が選択されると、E メール待機画面になり、「件名」の表示が選択した件名に変わります。

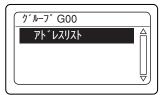
グループアドレスを登録したい

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

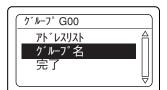
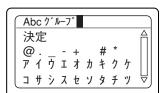
❷ 操作パネルの キーを３回押し［メニュー］を選択し、 キーを押します。

❸ キーを５回押し［スキャナメニュー］を選択し、 キーを押します。

❹ キーを１回押し［アドレス帳］を選択し、 キーを押します。

❺ キーを１回押し［グループアドレス］を選択し、 キーを押します。

❻ キーおよび キーを用いて、カーソルを新規登録するグループ番号（G00 ～ G19）へ移動させ、 キーを押します。

❼ キーおよび キーを用いて、カーソルを「アドレスリスト」へ移動させ、 キーを押します。

アドレス帳に登録済みの E メールアドレスの一覧が表示されます。

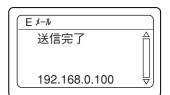
❽ グループへの登録を希望するEメールアドレスへカーソルを移動し、キーを押して登録番号の左端に‘*’を付加します。なお、選択を解除するにはキーを再度押します。

グループへ登録するEメールアドレスの選択が完了した場合は、キーを押します。

❾ Eメールアドレスの選択が完了すると「アドレスリスト」の下に「グループ名」が表示されます。グループ名の入力はEメールアドレスの選択完了後に可能になります。キーおよびキーを用いて、カーソルをグループ名へ移動させ、キーを押すと文字入力画面が表示されます。

❿ 文字入力画面でグループ名の入力を行います。

なお、グループ名には、最大16文字分まで入力が可能です。また、グループ名が未入力の場合はグループ名は空白のままとなります。グループ名を入力後は「決定」を選択して、キーを押します。

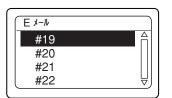
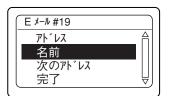
⓫ キーおよびキーを用いて、カーソルを「完了」へ移動させ、キーを押します。

Eメール送信後に宛先をアドレス帳へ登録したい

“送信後の宛先登録機能”とは、Eメール送信が正常終了した場合にTo宛先に指定し手入力されたEメールアドレスもしくは、LDAPサーバから取得したEメールアドレスをアドレス帳へ登録するための機能です。
To宛先に手入力もしくは、LDAPサーバから取得したEメールアドレスが存在しない場合は、Eメール送信が正常終了しても宛先登録の操作はできません。“送信後の宛先登録機能”を有効にするには、「管理者用メニュー」-「スキャナ設定」-「Eメール設定」-「送信後の宛先登録」の設定を“オン”（工場出荷時の設定値）にする必要があります。

❶ Eメール送信が正常に終了すると、To宛先に指定された手入力のEメールアドレスおよび、LDAPサーバから取得したEメールアドレスの一覧が画面上に表示されます。

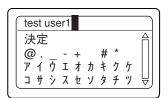
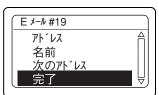
Eメールアドレスの登録を行わない場合は、《キーを押して待機画面に戻ります。

❷ ︿キーおよび﹀キーを用いて、登録を行うEメールアドレスにカーソルを移動し、⏎キーを押します。

アドレス帳に空きが無く、Eメールアドレスの登録が不可能な場合は“アドレスが一杯です”と表示され、待機画面に戻ります。

❸ 登録するEメールアドレスが選択されると、未登録となっているEメールアドレス番号が表示されます。登録を行うEメールアドレス番号へカーソルを移動し、⏎キーを押します。

❹ カーソルを「名前」に移動して、⏎キーを押します。直接入力画面が表示されるので、登録する名前を入力します。

名前は最大16文字まで入力ができます。また、名前が未入力の場合は名前の欄は空欄のままとなります。

❺ 名前の入力が終わったら、「決定」を選択して⏎キーを押します。

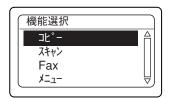
❻ 登録するEメールアドレスの確認を行うには、カーソルを「アドレス」に移動し、⏎キーを押します。

❼「アドレス」を選択すると、登録されたEメールアドレスが直接入力画面上に表示されます。Eメールアドレスの確認が済んだら、「決定」を選択して⏎キーを押します。

❽ 他のEメールアドレスの登録を続けて行う場合はカーソルを「次のアドレス」へ移動し、(↵) キーを押します。

❷からの作業を繰り返します。

「次のアドレス」が選択されると、To宛先に指定された手入力のEメールアドレスおよびLDAPサーバから取得したEメールアドレスの一覧が表示されます。

❾ Eメールアドレスの登録を完了するには、カーソルを「完了」へ移動して (↵) キーを押します。

アドレス帳への登録を完了して待機画面に戻ります。

登録済みのグループアドレスを編集したい

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

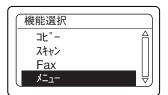
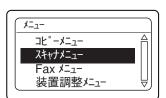
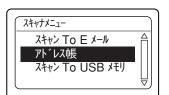
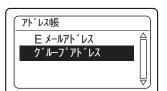
❷ 操作パネルの キーを３回押し［メニュー］を選択し、 キーを押します。

❸ キーを５回押し［スキャナメニュー］を選択し、 キーを押します。

❹ キーを１回押し［アドレス帳］を選択し、 キーを押します。

❺ キーを１回押し［グループアドレス］を選択し、 キーを押します。

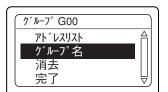
❻ キーおよび キーを用いて、カーソルを編集するグループ番号（G00 ～ G19）へ移動させ、 キーを押します。

❼ キーおよび キーを用いて、カーソルを「アドレスリスト」へ移動させ、 キーを押します。

アドレス帳に登録済みの E メールアドレスの一覧が表示されます。

すでにグループに登録されている E メールアドレスの登録番号の左端には '*' が表示されています。

❽ 追加でEメールアドレスを登録する場合は、追加を希望するEメールアドレスへカーソルを移動し、キーを押して登録番号の左端に '*' を付加します。

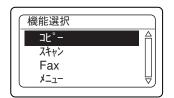
❾ Eメールアドレスの登録を削除する場合は、削除を希望するEメールアドレスへカーソルを移動し、キーを押して登録番号の左端の '*' 表示を消します。

❿ Eメール送信宛先の編集が完了した場合は、キーを押します。

⓫ キーおよび キーを用いて、カーソルをグループ名へ移動させ、キーを押します。文字入力画面に現在のグループ名が表示されます。

⓬ 文字入力画面を使用してグループ名の編集を行います。

グループ名の編集後は「決定」を選択して、キーを押します。

⓭ キーおよび キーを用いて、カーソルを「完了」へ移動させ、キーを押します。

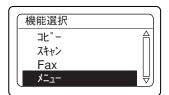
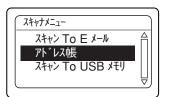
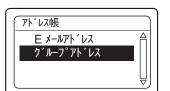
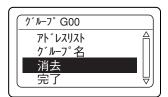
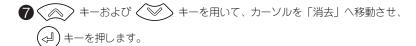
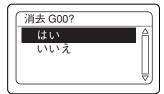
グループアドレスの登録を削除したい

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

❷ 操作パネルの ∨ キーを 3 回押し［メニュー］を選択し、＞ キーを押します。

❸ ∨ キーを 5 回押し［スキャナメニュー］を選択し、＞ キーを押します。

❹ ∨ キーを 1 回押し［アドレス帳］を選択し、＞ キーを押します。

❺ ∨ キーを 1 回押し［グループアドレス］を選択し、＞ キーを押します。

❻ ∧ キーおよび ∨ キーを用いて、カーソルを登録を削除するグループ番号（G00 ～ G19）へ移動させ、＞ キーを押します。

❼ キーおよび キーを用いて、カーソルを「消去」へ移動させ、キーを押します。

消去確認の画面が表示されますので「はい」へカーソルを移動し、キーを押します。

登録が削除されたらグループのグループ名の欄は空欄で表示されます。

大きなＥメールを分割して送りたい

１回のＥメールで送信可能なイメージファイルのサイズに制限を設け、設定したデータサイズを超える場合はイメージファイルを複数のＥメールに分割して送信を行います。Ｅメールサイズに制限が設けられている環境で、スキャン To Ｅメールを利用する場合の設定を行います。

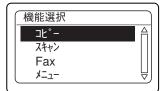
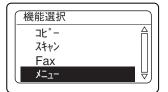
設定可能なサイズは下記の通りです。
1MB
3MB
5MB
10MB
30MB
無制限（工場出荷時の設定値）

イメージファイルの分割はページ単位で行われ、ページの読み取り途中で制限サイズとなった場合は、読み取り途中に制限サイズとなったページから別メールとして送信されます。

5

スキャン To Ｅメール機能の説明

設定方法

Ｅメール分割サイズを小さな値に変更しても、Ｅメールサイズ制限により送信が行われない場合は、解像度の値を小さくしてください。

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

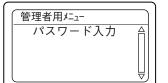
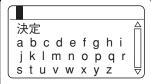
❷ 操作パネルの [下] キーを３回押し、［メニュー］を選択し、[右] キーを押します。

❸ [下] キーを２回押し、［管理者用メニュー］を選択し、[右] キーを押します。

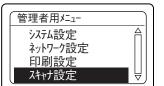
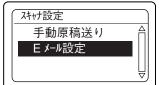
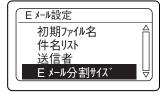
❹「パスワード入力」と数秒表示した後、パスワード入力画面になるので、次の方法で［aaaaaa］と入力します。

［aaaaaa］は工場出荷時に設定されているパスワードです。

を2回押し、[a] を選択し、 を押します。左のような画面になります。

❺ 続けて、 キーを5回押します。(左のような画面になります。* が6個表示されました。)

❻ キーを1回押して [決定] を選択し、 キーを押します。

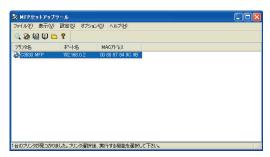
❼ 左の画面を表示するので、 キーを数回押して [スキャナ設定] を選択し、 キーを押します。

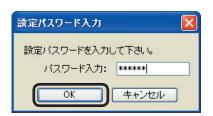
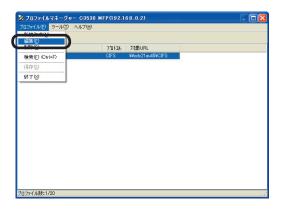
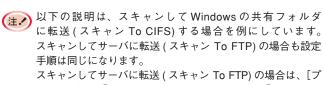
❽ キーを1回押して [E メール設定] を選択し、 キーを押します。

❾ キーを数回押して [E メール分割サイズ] を選択し、 キーを押します。

❿ キーまたは キーを使って希望するサイズを選択し、 キーを押します。

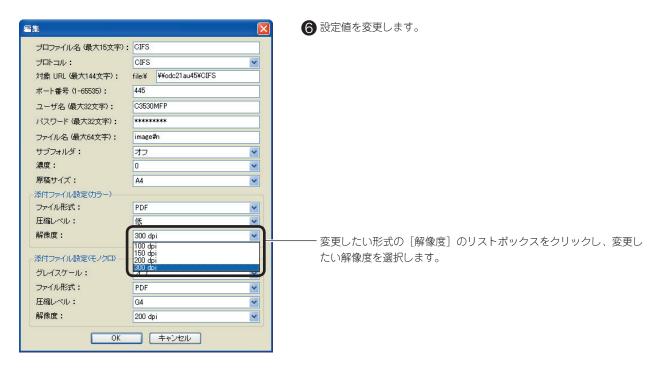
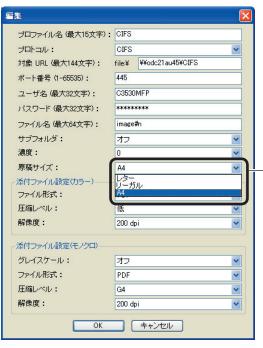
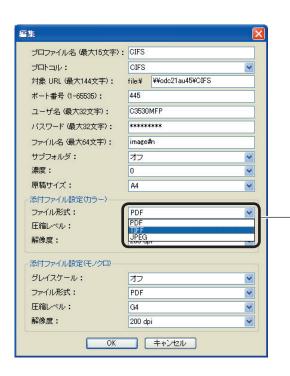
6 スキャン To ネットワーク PC 機能の説明

スキャン To ネットワーク PC の設定を変更したい

❶［スタート］-［全てのプログラム］（Windows XP ／ Server 2003 以外では［プログラム］）-［沖データ］-［MFP セットアップツール］-［MFP セットアップツール］をクリックします。

❷一覧よりプリンタ名又は IP アドレスを参照して、設定を行う MFP を選択します。

❸［設定］メニューの［プロファイルマネージャー］をクリックします。

❹パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❺該当するプロファイルを選択し、［プロファイル］メニューの［編集］を選択します。

以下の説明は、スキャンして Windows の共有フォルダに転送 (スキャン To CIFS) する場合を例にしています。スキャンしてサーバに転送 (スキャン To FTP) の場合も設定手順は同じになります。
スキャンしてサーバに転送 (スキャン To FTP) の場合は、［プロトコル］を「FTP」に設定し、［対象 URL］に「//FTP サーバの IP アドレス /」又は、「//FTP サーバのホスト名 /」を入力する必要があります。
また、［ポート番号］は自動的に FTP のポート番号「21」が設定されます。

❻ 設定値を変更します。

変更したい形式の［解像度］のリストボックスをクリックし、変更したい解像度を選択します。

［原稿サイズ］のリストボックスをクリックし、変更したい原稿サイズを選択します。

変更したい形式の［ファイル形式］のリストボックスをクリックし、変更したいファイル形式を選択します。

❼ 変更後、［OK］をクリックします。

❽［保存］アイコンをクリックして、プロファイルの編集を保存します。

ADF を使わずに、複数枚の原稿をまとめてスキャンしたい

C3530MFP は、スキャナ部の原稿台で、複数枚の原稿を一度にスキャンする機能を備えています。
しわや反りのある原稿や厚い原稿など、ADF（オートドキュメントフィーダ）で読み取りできない複数枚の原稿を一度にスキャンしたい場合などに、この機能を使えます。

 この機能は、スキャンして E メールを送信する場合やスキャンしてサーバに転送する場合またはスキャンして USB メモリに保存する場合にのみ使えます。
コピーには、このような機能はありません。

設定方法

❶ 操作パネルの キーを数回押して、「メニュー」を選択し、 キーを押します。

❷ キーを押して、「管理者用メニュー」を選択し、 キーを押します。

パスワードを入力します。

❸ キーを押して、「スキャナ設定」を選択し、 キーを押します。

❹ キーを押して、「手動原稿送り」を選択し、 キーを押します。

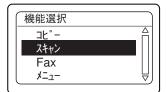
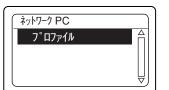
❺ キーまたは キーを押して、「オン」を選択し、 キーを押します。

メモ 手動原稿送りモードの設定は､MFP セットアップツールまたは Web ブラウザからも行うことができます。詳しくは､MFP セットアップツールのヘルプをご覧ください。
MFP セットアップツールまたは Web ブラウザから変更した設定は、［待機モード移行時間］で設定した時間が経過しても、クリアされることはありません。

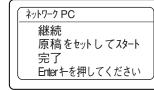
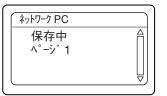
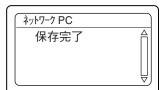
スキャン方法（ネットワーク PC）

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

❷ 操作パネルの キーを 1 回押し、［スキャン］を選択し、 キーを押します。

❸ 操作パネルの キーを 3 回押し、［ネットワーク PC］を選択し、 キーを押します。

❹［プロファイル］を選択し、 キーを押します。

❺ 保存先を選択して、 キーを押します。

❻ 原稿を原稿台に置き、 カラースタートボタンまたは モノクロスタートボタンを押します。

❼ ❻を繰り返します。

❽ 最後の原稿を読み取り終わったら、 キーを押します。

❾ ファイルがネットワーク PC に保存されます。

Web ブラウザで Scan To ネットワーク PC の設定をしたい

注 Windows Vista では、サポート対象外となります。

1 プロファイルを設定します。

C3530MFP がネットワーク PC に接続できるようにするために、C3530MFP にプロファイルを設定します。

❶ ネットワーク経由で MFP に接続された PC 上で、Web ブラウザを起動します。

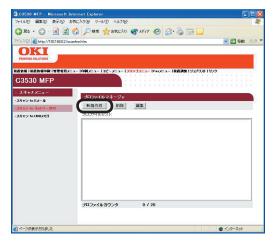
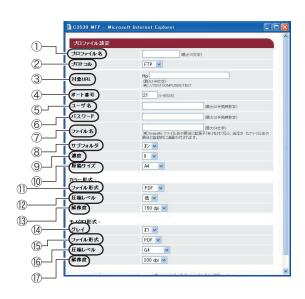
❷［アドレス］に URL「http:// プリンタの IP アドレス /」を入力し、Enter キーを押します。

❸［管理者のログイン］をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❺ プリンタ情報を設定し［OK］または［スキップ］をクリックします。

❻［スキャナメニュー］をクリックします。

❼［スキャン to ネットワーク PC］をクリックします。

❽［新規作成］をクリックします。

❾ 以下の①〜⑰の項目を設定します。また、その他の項目も必要に応じて設定を変更してください。

①プロファイル名：任意のプロファイル名を入力します。

②プロトコル：　リストボックスから「CIFS」を選択します。

③対象 URL：　「¥¥［CIFS を設定したコンピュータのコンピュータ名］¥［共有フォルダ名］」を入力します。
ここでは、「odct21au45¥CIFS」を入力します。

④ポート番号：　プロトコルの設定を「CIFS」にすると、自動的に CIFS のポート番号「445」が設定されます。

⑤共有フォルダにアクセスするためのユーザー名を入力します。
ここでは、手順 2「コンピュータに CIFS を設定します」の「ユーザーを登録します」で登録したユーザー名「C3530MFP」を入力します。

⑥パスワード：　共有フォルダにアクセスするためのパスワードを入力します。
ここでは、手順 2「コンピュータに CIFS を設定します」の「ユーザーを登録します」で登録したパスワードを入力します。

⑦送信ファイル名を入力します。ファイル名の最後に拡張子「#n」を付けると、送信されたファイル名の最後に自動的に連番が付されます。こうすることで、ファイル名の重複を防ぐことができます。

⑧リストボックスから「オフ」を選択します。
ただし、共有フォルダにサブフォルダが存在し、そのフォルダにファイルを転送したい場合は「オン」を選択します。「オン」に設定すると、ファイル転送スタート時にサブフォルダ名入力の指示があります。

⑨濃度：　原稿を読み込む濃度を設定します。

⑩原稿サイズ：　変更したい原稿サイズを選択します。

⑪ファイル形式（カラー）：ファイル形式を設定します。
［設定できるファイル形式］
PDF（工場出荷時の設定値）
TIFF
JPEG

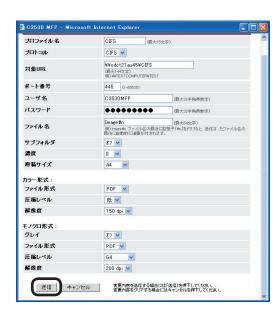
⑫圧縮レベル：　ファイルの圧縮レベルを設定します。
［設定できる圧縮レベル］
ファイル形式が PDF または JPEG の場合
低（工場出荷時の設定値）
中
高
ファイル形式が TIFF の場合
Raw 形式

⑬解像度：　解像度の値を設定します。

⑭グレイスケール：グレイスケールでスキャンする場合はオンに設定します。モノクロでスキャンする場合はオフに設定します。

⑮ファイル形式（モノクロ）：ファイル形式を設定します。
グレイスケールでスキャンする場合
［設定できるファイル形式］
PDF（工場出荷時の設定値）
TIFF
JPEG
モノクロでスキャンする場合
［設定できるファイル形式］
PDF
TIFF

⑯圧縮レベル（モノクロ）：ファイルの圧縮レベルを設定します。
グレイスケールでスキャンする場合
［設定できる圧縮レベル］
ファイル形式が PDF または JPEG の場合
低（工場出荷時の設定値）
中
高
ファイル形式が TIFF の場合
Raw 形式
モノクロでスキャンする場合
［設定できる圧縮レベル］
G4（工場出荷時の設定値）
G3
Raw 形式

⑰解像度（モノクロ）：解像度の値を設定します。

⑩ 設定が完了したら、［送信］をクリックします。

メモ　プロファイルは、最大で 20 件登録できます。

6

スキャン To ネットワーク PC 機能の説明

7 コピー機能の説明

枠を消去したい

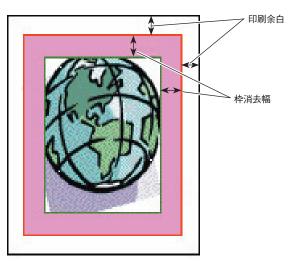
コピーしたイメージの枠を消すことができます。
操作パネル、MFP セットアップツールまたは Web ブラウザで設定します。
厚めの原稿をコピーする際に原稿の周囲に発生する影を、除去する場合に使用できます。
設定された値は原稿の各端部（上 / 下 / 左 / 右）に共通に適用されます。
設定された幅分のイメージは消去される為、コピーのイメージには再現されません。
各設定値で消去されるイメージの画素数に関しては、下表を参照してください。

［設定値］
- 0 ミリ
- 6 ミリ
- 13 ミリ
- 19 ミリ
- 25 ミリ

枠消去設定値と画素数の対応

枠消去設定				
0 ミリ	6 ミリ	13 ミリ	19 ミリ	25 ミリ
0 ピクセル	160 ピクセル	288 ピクセル	448 ピクセル	608 ピクセル

600dpi 換算での画素数

枠消去指定時のコピーイメージ

余白を移動したい

コピーしたイメージを右方向または、下方向へずらし、左側または、上側に余白を追加できます。
コピーしたイメージの左側または、上側に設定幅分の余白が付加されるのみとし、イメージの縮小は行いません。
なお、印刷可能領域内に収まらないイメージは、印刷されません。

C3530 MFP では、下記に示す 2 方向の余白移動設定をサポートします。
　余白移動 – 右：左側に余白を追加することにより、右方向にイメージを移動します。
　余白移動 – 下：上側に余白を追加することにより、下方向にイメージを移動します。

また、各余白移動設定により付加される余白の画素数に関しては、下表を参照してください。

［設定値］

- 0 ミリ
- 6 ミリ
- 13 ミリ
- 19 ミリ
- 25 ミリ

余白移動設定値と画素数の対応

余白移動設定				
0 ミリ	6 ミリ	13 ミリ	19 ミリ	25 ミリ
0 ピクセル	160 ピクセル	288 ピクセル	448 ピクセル	608 ピクセル

600dpi 換算での画素数

余白移動指定時のコピーイメージ

7
コピー機能の説明

8 レポート

レポートを印刷したい

ｾｯﾃｲ ﾅｲﾖｳ　　　C3530 MFP

Serial Number:AE73049405　Asset Number:
CU version:A3.03 [I01.18 U02.15 S3.1.5d B00.76 PPC405PS 266MHz F50 J0]
PU version:10.00.00 [PI03.11 LO00.00.20]　ET:1000000B0606031B1421090000000000　KYMC-1111
Hiper-C version:00.18
Scanner version:2.03　Fax version:1.06
DIMM Slot A:CU Program ROM
Total Memory Size:128 MB
Flash Memory:4 MB [F50]　Language format:1.0
JP1　Language version:1.9
Network version:01.11 / D1.10　Language:JAPANESE

ｿｳﾁ ｼﾞｮｳﾎｳ ｲﾝｻﾂ
ｾｯﾃｲ ﾅｲﾖｳ
ﾈｯﾄﾜｰｸ ｼﾞｮｳﾎｳ
ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ
DEMO1
MFP ﾄﾞｳｻ ﾚﾎﾟｰﾄ
ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｼﾞｮｳﾀｲ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｶﾝﾘｼｬ ﾒﾆｭｰ
ｼｽﾃﾑ ｾｯﾃｲ
ｱｸｾｽ ｾｲｷﾞｮ　ﾑｺｳ
ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｲｺｳｼﾞｶﾝ　30 ﾌﾝ
ﾀｲｷﾓｰﾄﾞ ｲｺｳ ｼﾞｶﾝ　60 ﾋﾞｮｳ
ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾓｰﾄﾞ　ｺﾋﾟｰ
ﾋｮｳｼﾞ ﾀﾝｲ　ﾐﾘ
ﾆﾁｼﾞ ﾋｮｳｼﾞ　yyyy/mm/dd
ｽﾍﾞﾃﾉ ﾚﾎﾟｰﾄ ｲﾝｻﾂ ｷｮｶ　ｵﾌ
ﾊﾟﾈﾙ ｺﾝﾄﾗｽﾄ　0
ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ
ﾈｯﾄﾜｰｸ
TCP/IP　ﾕｳｺｳ
IP ｱﾄﾞﾚｽ ｾｯﾃｲ　ｼﾞﾄﾞｳ
IP ｱﾄﾞﾚｽ　192.168.1.225
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ　255.255.255.0
ｹﾞｰﾄｳｪｲ ｱﾄﾞﾚｽ　192.168.1.254
DNS ｻｰﾊﾞ ﾌﾟﾗｲﾏﾘ　192.168.1.210
DNS ｻｰﾊﾞ ｾｶﾝﾀﾞﾘ　192.168.1.201
Web　ﾕｳｺｳ
SNMP　ﾕｳｺｳ
HUB ﾘﾝｸ ｾｯﾃｲ　ｼﾞﾄﾞｳ ﾊﾝﾍﾞﾂ
ｼｭｯｶｼﾞｾｯﾃｲ ﾆ ﾓﾄﾞｽ?
ｲﾝｻﾂ ｾｯﾃｲ
ｺﾋﾟｰ ﾌﾞｽｳ　1
ﾖｳｼ ﾁｪｯｸ　ﾕｳｺｳ
ﾓﾉｸﾛ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ　ｼﾞﾄﾞｳ
ﾖｳｼ ﾊﾊﾞ　210 ﾐﾘ
ﾖｳｼ ﾅｶﾞｻ　297 ﾐﾘ
ｽｷｬﾅ ｾｯﾃｲ
ｼｭﾄﾞｳ ｹﾞﾝｺｳ ｵｸﾘﾓｰﾄﾞ　ｵﾝ
Eﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ
ｿｳｼﾝｺﾞﾉ ｱﾃｻｷ ﾄｳﾛｸ　ｵﾝ
ｼｮｷ ﾌｧｲﾙﾒｲ
ｹﾝﾒｲ ﾘｽﾄ
#00
#01
#02
#03
#04
ｿｳｼﾝｼｬ
Eﾒｰﾙ ﾌﾞﾝｶﾂ ｻｲｽﾞ　ｾｲｹﾞﾝﾅｼ
ｼﾞﾄﾞｳ ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ　ｵﾌ
ﾒｰﾙ ｻｰﾊﾞ ｾｯﾃｲ
SMTP ｻｰﾊﾞ
SMTP ﾎﾟｰﾄ　25
POP3 ｻｰﾊﾞ
POP3 ﾎﾟｰﾄ　110

ﾆﾝｼｮｳ ﾎｳﾎｳ　ﾅｼ
ﾛｸﾞｲﾝﾒｲ
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ　****************
****
LDAPｻｰﾊﾞ ｾｯﾃｲ
ｻｰﾊﾞ ｾｯﾃｲ
LDAP ｻｰﾊﾞ
ﾎﾟｰﾄ ﾊﾞﾝｺﾞｳ　389
ﾀｲﾑｱｳﾄ　30
ｻｲﾀﾞｲ ｴﾝﾄﾘｽｳ　100
DNﾒｲ
ｿﾞｸｾｲ
ﾅﾏｴ1　cn
ﾅﾏｴ2　sn
ﾅﾏｴ3　givenName
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ　mail
ﾂｲｶ ﾌｨﾙﾀ
ﾆﾝｼｮｳ
ﾎｳﾎｳ　Anonymous
Fax ｾｯﾃｲ
ｹﾞﾝｻﾞｲ ｼﾞｺｸ ｾｯﾃｲ　2008/03/05 13:36
ｷﾎﾝ ｾｯﾃｲ
ｼﾞｷ ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ
ｿｳｼﾝｼｬ ID
ｿｳｼﾝ ｶｸﾆﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ　ｵﾌ
ﾄﾞｳﾎｳ ｶｸﾆﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ　ｵﾌ
ｶﾞﾂｷ ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ　ｵﾌ
ﾓﾃﾞﾑ ﾃﾞﾝｿｳｿｸﾄﾞ　33.6 Kbps
ｵｳﾄｳ ﾏﾁ ｼﾞｶﾝ　1 ｶｲ
ｽﾋﾟｰｶｰ ﾎﾞﾘｭｰﾑ　ﾁｭｳ
Fax ｶｲｾﾝ ｾｯﾃｲ
ﾘﾀﾞｲｱﾙ ｶｲｽｳ　2 ｶｲ
ﾘﾀﾞｲｱﾙ ｶﾝｶｸ　3 ﾌﾝ
ﾀﾞｲﾔﾙ ﾄｰﾝ ｹﾝｼｭﾂ　ｵﾝ
ﾋﾞｼﾞｰ ﾄｰﾝ ｹﾝｼｭﾂ　ｵﾝ
ﾄｰﾝ/ﾊﾟﾙｽ　ﾄｰﾝ
ﾒﾓﾘ ｾｯﾃｲ
ｼﾞｭｼﾝ ﾊﾞｯﾌｧ ｻｲｽﾞ　ｼﾞﾄﾞｳ
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ﾍﾝｺｳ
ｼｭｯｶｼﾞｾｯﾃｲ ﾆ ﾓﾄﾞｽ
ｽｷｬﾅ ｶｳﾝﾀ ｼｮｳｷｮ
ｽｷｬﾝ ﾏｲｽｳ
ADF ｽｷｬﾝ ﾏｲｽｳ

ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ
ﾄﾚｲ ｺｳｾｲ
ﾃｻﾞｼ ﾄﾚｲ　ｵﾌ
ﾄﾚｲ1 ｾｯﾃｲ
ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ　A4
ﾖｳｼ ﾀｲﾌﾟ　ﾌﾂｳｼ
ﾒﾃﾞｨｱ ｳｪｲﾄ　ﾌﾂｳｼ
ﾃｻﾞｼ ﾄﾚｲ ｾｯﾃｲ
ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ　A4
ﾖｳｼ ﾀｲﾌﾟ　ﾌﾂｳｼ
ﾒﾃﾞｨｱ ｳｪｲﾄ　ﾌﾂｳｼ
ｲﾝｻﾂ ﾎｾｲ

設定内容

装置の設定内容を印刷します。

操作パネルで「メニュー」-「装置情報印刷」-「設定内容」を選択します。

Network Information

System Information
Serial Number　AE73049405
Asset Number

General Information
Device Name　OKI-C3530 MFP-8BBF85
Short Device Name　C3530MFP-8BBF85
MAC Address　00:80:87:8B:BF:85
Network Model　OkiLAN 9200e
NIC Program version　01.11
NIC Default version　D1.10
HUB Link Setting　Auto Negotiate
HUB Link Status　OK (10Base-T Half)
Network Status　Unicast Packets Received　874
Packets Transmitted　951
Total Packets Received　964
Unsendable Packets　87
Bad Packets Received　0

TCP/IP Configuration
IP Address Set　Auto (DHCP/BOOTP : 192.168.1.210)
IP Address　192.168.1.225
Subnet Mask　255.255.255.0
Gateway Address　192.168.1.254
DNS Server (Primary)　192.168.1.210
DNS Server (Secondary)　192.168.1.201

SNTP Configuration
Time/SNTP Settings
SNTP　Disable
NTP Server (Primary)
NTP Server (Secondary)
Local Timezone Settings
Local Time Zone　00:00 hour(s)
Daylight Saving Settings
Daylight Saving　Disable

Security
Service ON/OFF
Web　Enable
SNMP　Enable

Mail Configuration
Mail Server Setup
SMTP Server　192.168.1.210
SMTP Port　25
POP3 Server　192.168.0.210
POP3 Port　110
Authentication Method　SMTP
Login Name　mfp

LDAP Configuration
Server Settings
LDAP Server
Port Number　389
Timeout　30 seconds
Max Entry　100
Search Root
Attribute
User Name 1　cn
User Name 2　sn
User Name 3　givenName
Mail Address　mail
Additional Filter
Authentication
Method　Anonymous
User ID

ネットワーク情報

ネットワークに関する設定内容を印刷します。

操作パネルで「メニュー」-「装置情報印刷」-「ネットワーク情報」を選択します。

デモページ

デモ印刷を行います。

操作パネルで「メニュー」-「装置情報印刷」-「デモページ」を選択します。

MFP ﾄﾞｳｻ ﾚﾎﾟｰﾄ　　C3530 MFP

ｲﾝｻﾂ ｶｳﾝﾀ
A4/ﾚﾀｰ ｶﾝｻﾞﾝ ﾓﾉｸﾛ ｲﾝｻﾂ ｶｳﾝﾄ : 79
A4/ﾚﾀｰ ｶﾝｻﾞﾝ ｶﾗｰ ｲﾝｻﾂ ｶｳﾝﾄ : 39
ﾄﾚｲ1 ｲﾝｻﾂ ｶｳﾝﾄ : 116
ﾃｻﾞｼ ﾄﾚｲ ｲﾝｻﾂ ｶｳﾝﾄ : 2
ｲﾝｻﾂ ｶｳﾝﾄ ﾙｲｹｲ : 118

ｽｷｬﾝ ｶｳﾝﾀ
ｽｷｬﾝ ｶｳﾝﾄ ﾙｲｹｲ : 92
ｽｷｬﾝ ｶｳﾝﾄ : 92
ADF ｽｷｬﾝ ｶｳﾝﾄ ﾙｲｹｲ : 45
ADF ｽｷｬﾝ ｶｳﾝﾄ : 45
ﾓﾉｸﾛ ｺﾋﾟｰ ｶｳﾝﾄ : 28
ｶﾗｰ ｺﾋﾟｰ ｶｳﾝﾄ : 30
ﾓﾉｸﾛ ｽｷｬﾝ To Eﾒｰﾙ ｶｳﾝﾄ : 4
ｶﾗｰ ｽｷｬﾝ To Eﾒｰﾙ ｶｳﾝﾄ : 3
ﾓﾉｸﾛ ｽｷｬﾝ To USBﾒﾓﾘ ｶｳﾝﾄ : 3
ｶﾗｰ ｽｷｬﾝ To USBﾒﾓﾘ ｶｳﾝﾄ : 6
ﾓﾉｸﾛ ｽｷｬﾝ To Network PC ｶｳﾝﾄ : 3
ｶﾗｰ ｽｷｬﾝ To Network PC ｶｳﾝﾄ : 2
Fax ｶｳﾝﾄ : 5
ｽｷｬﾝ To PC ｶｳﾝﾄ : 0

Fax ｶｳﾝﾀ
Fax ｿｳｼﾝ ｶｳﾝﾄ : 5
Fax ｼﾞｭｼﾝ ｶｳﾝﾄ : 4
Fax ｿｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ : 0:02:08
Fax ｼﾞｭｼﾝ ｼﾞｶﾝ : 0:00:24

MFP 動作レポート

印刷枚数，スキャン枚数，ファクス通信枚数および、通信時間を印刷します。

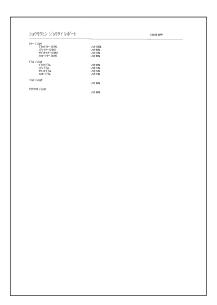
操作パネルで「メニュー」-「装置情報印刷」-「MFP 動作レポート」を選択します。

ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｼﾞｮｳﾀｲ ﾚﾎﾟｰﾄ　　C3530 MFP

ﾄﾅｰ ｼﾞｭﾐｮｳ
ﾌﾞﾗｯｸ ﾄﾅｰ (2.5K) : ﾉｺﾘ 100%
ｼｱﾝ ﾄﾅｰ (2.0K) : ﾉｺﾘ 90%
ﾏｾﾞﾝﾀ ﾄﾅｰ (2.0K) : ﾉｺﾘ 70%
ｲｴﾛｰ ﾄﾅｰ (2.0K) : ﾉｺﾘ 80%

ﾄﾞﾗﾑ ｼﾞｭﾐｮｳ
ﾌﾞﾗｯｸ ﾄﾞﾗﾑ : ﾉｺﾘ 69%
ｼｱﾝ ﾄﾞﾗﾑ : ﾉｺﾘ 74%
ﾏｾﾞﾝﾀ ﾄﾞﾗﾑ : ﾉｺﾘ 74%
ｲｴﾛｰ ﾄﾞﾗﾑ : ﾉｺﾘ 74%

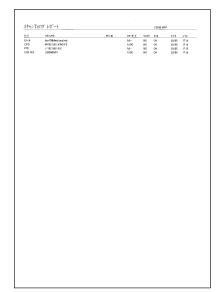
ﾍﾞﾙﾄ ｼﾞｭﾐｮｳ
: ﾉｺﾘ 90%

ﾃｲﾁｬｸｷ ｼﾞｭﾐｮｳ
: ﾉｺﾘ 96%

消耗品状態レポート

消耗品情報を印刷します。

操作パネルで「メニュー」-「装置情報印刷」-「消耗品状態レポート」を選択します。

ｽｷｬﾝToﾛｸﾞ ﾚﾎﾟｰﾄ　　C3530 MFP

ﾓｰﾄﾞ	ﾂｳｼﾝｻｷ	Pin-ID	ｶﾗｰﾓｰﾄﾞ	ﾏｲｽｳ	ｹｯｶ	ﾋﾂﾞｹ	ｼﾞｺｸ
Eﾒｰﾙ	box10@dieci.local.net		ｶﾗｰ	001	OK	03/05	17:14
CIFS	¥¥192.168.1.43¥CIFS		ﾓﾉｸﾛ	001	OK	03/05	17:14
FTP	//192.168.1.43/		ｶﾗｰ	001	OK	03/05	17:15
USB ﾒﾓﾘ	USBMEM01		ﾓﾉｸﾛ	001	OK	03/05	17:16

スキャン To ログレポート

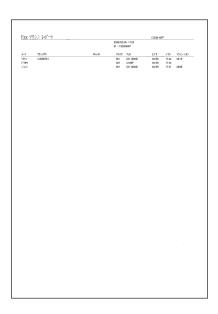
スキャン To E メール，スキャン To ネットワーク PC，スキャン To USB メモリのログを印刷します。

操作パネルで「メニュー」-「装置情報印刷」-「スキャン To ログレポート」を選択します。

印刷するには「メニュー」-「管理者用メニュー」-「システム設定」-「すべてのレポート印刷許可」を［オン］にします。

Fax ツウシン レポート　　C3530 MFP

2008/03/05 17:28
ID = C3530MFP

モード	ツウシンサキ	Pin-ID	マイスウ	ケッカ	ヒヅケ	ジコク	ツウシン ジカン
ソウシン	123456781		001	OK 〈0000〉	03/05	17:22	00'15"
ドウホウ			001	COMP	03/05	17:24	
ジュシン			001	OK 〈0000〉	03/05	17:27	00'08"

FAX 通信レポート

ファクス通信レポートを印刷します。

ファクス送・受信および、ファクスドライバ送信の合計が、50 通信となると自動的に印刷されます。

また､操作パネルで｢メニュー｣-｢装置情報印刷｣-｢FAX 通信レポート｣を選択し､手動で印刷することもできます。

印刷するには「メニュー」-「管理者用メニュー」-「システム設定」-「すべてのレポート印刷許可」を［オン］にします。

FAX ツウシン カクニン レポート　　C3530 MFP

2008/03/05 12:35
ID = C3530MFP

モード	ツウシンサキ	Pin-ID	マイスウ	ケッカ	ヒヅケ	ジコク	ツウシン ジカン
ソウシン	123456781		001	OK 〈0000〉	03/05	12:34	00'22"

2008/03/05 12:34 C3530MFP　　NO.009 01

THE SLEREXE COMPANY LIMITED
SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER
TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC　　18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road,
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause the photocell to generate an analogous electrical video signal. This signal is used to modulate a carrier, which is transmitted to a remote destination over a radio or cable communications link.

At the remote terminal, demodulation reconstructs the video signal, which is used to modulate the density of print produced by a printing device. This device is scanning in a raster scan synchronised with that at the transmitting terminal. As a result, a facsimile copy of the subject document is produced.

Probably you have uses for this facility in your organisation.

Yours sincerely,

Phil.

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

一宛先送信確認レポート

一宛先ファクス送信の完了時に、送信結果を自動的に印刷します。

「画付き送信レポート」設定が［オン］の場合は、レポートに送信画像の第一ページが追加されます。

｢メニュー｣-｢管理者用メニュー｣-｢Fax 設定｣-｢基本設定｣-｢一宛先送信確認レポート｣を［オン］にします。

画付き送信レポートを印刷したい場合

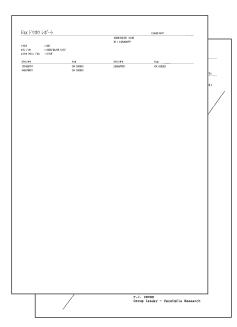
印刷するには「メニュー」-「管理者用メニュー」-「Fax 設定」-「基本設定」-「画付き送信レポート」を［オン］にします。

Fax ドウホウ レポート　　C3530 MFP

2008/03/05 12:40
ID = C3530MFP

マイスウ = 001
カイシ ジコク = 2008/03/05 12:37
ルイセキ ツウシン ジカン = 01'08"

ツウシンサキ	ケッカ	ツウシンサキ	ケッカ
123456781	OK 〈0000〉	234567891	OK 〈0000〉
345678901	OK 〈0000〉		

P.J. CROSS
Group Leader - Facsimile Research

FAX 同報確認レポート

ファクス同報送信の完了時に、宛先ごとの送信結果を自動的に印刷します。

「画付き送信レポート」設定が［オン］の場合は、レポートに送信画像の第一ページが追加されます。

印刷するには「メニュー」-「管理者用メニュー」-「Fax 設定」-「基本設定」-「同報確認レポート」を［オン］にします。

画付き送信レポートを印刷したい場合

「メニュー」-「管理者用メニュー」-「Fax 設定」-「基本設定」-「画付き送信レポート」を［オン］にします。

Eメール ドウホウ レポート　C3530 MFP

マイスウ　= 001
カイシ ジコク　= 2008/03/05 12:21

ツウシンサキ	ケッカ	ツウシンサキ	ケッカ
box10@dieci.local.net	OK	box11@dieci.local.net	OK

E メール同報レポート

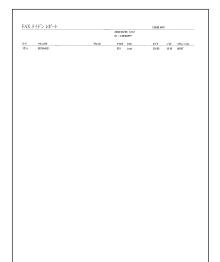
E メール同報送信の完了時に、宛先ごとの送信結果を自動的に印刷します。

※送信結果は、メールサーバへの送信結果となります。

操作パネルで「メニュー」-「管理者用メニュー」-「スキャナ設定」-「E メール設定」-「自動送信レポート」を［オン］にします。

FAX テイデン レポート　C3530 MFP

2008/03/05 12:12
ID = C3530MFP

モード	ツウシンサキ	Pin-ID	マイスウ	ケッカ	ヒヅケ	ジコク	ツウシン ジカン
ソウシン	987654321		001	Lost	03/05	12:10	00'00"

停電レポート

ファクス送受信データが、装置の電源断により失われた場合、電源再投入後に自動的に印刷します。

- ファクス送信時は、スキャン完了からファクス送信開始間で電源断が発生した場合、送信データが失われる可能性があります。
- ファクス受信時は、ファクス受信完了から受信画の印刷開始間で電源断が発生した場合、受信データが失われる可能性があります。

9 Web ブラウザ

Web ブラウザで PIN ID を設定したい

PIN ID を設定すると利用者の操作を制限することができます。利用者の制限は“アクセス制御”メニューを“オン”にした場合に有効になります。アクセス制御を “オン” にすることにより、パネル操作、コピー、E メール送信、ファクス送信を制限することができます。

起動します

❶ Web ブラウザを起動します。

❷［アドレス］に URL「http://C3530MFP の IP アドレス /」を入力し、Enter キーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

IP アドレスに 1 桁または 2 桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例） 正しい入力値：
http://192.168.0.2/
誤った入力値：
http://192.168.000.002/

PIN ID を設定します

注 Web ブラウザでプリンタ /MFP の設定変更を行うには、プリンタ /MFP の管理者としてログインする必要があります。

❶［管理者のログイン］をクリックします。

❷［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

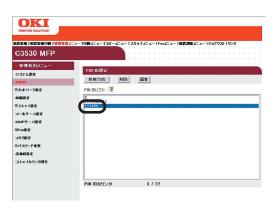
- パスワードの初期値は「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
- MAC アドレスは❶の画面に表示されています。

❸ 管理者用メニューの［PIN ID］をクリックします。

❹［新規作成］をクリックします。

❺ 登録する ID 番号を入力します。

❻ 登録する ID 番号のユーザが利用出来る機能を設定します。

❼ 必要な項目の入力が完了したら、［送信］ボタンをクリックします。

❽ 登録した ID 番号が、PIN ID リスト内に表示されている事を確認します。

10 MFPセットアップツール

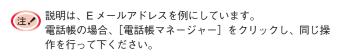
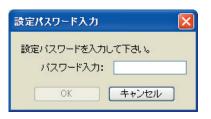
E メールアドレス帳・電話帳をインポート／エクスポートしたい

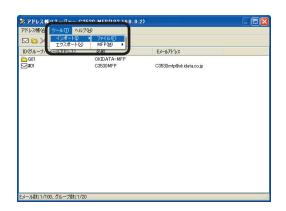
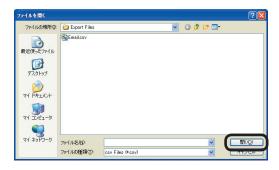
E メールアドレス帳や、電話帳をファイルに書き出したり、取り込むことができます。

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows XP/Server 2003 以外では［プログラム］）-［沖データ］-［MFP セットアップツール］-［MFP セットアップツール］をクリックします。

❷一覧よりプリンタ名又は IP アドレスを参照して、操作を行う MFP を選択します

❸［設定］メニューの［アドレス帳マネージャー］をクリックします。

説明は、E メールアドレスを例にしています。
電話帳の場合、［電話帳マネージャー］をクリックし、同じ操作を行って下さい。

❹パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

ファイルから電話帳へインポートする

① [ツール] メニューの [インポート] - [ファイル] を選択します。

② インポートするファイルを選択し、[開く] をクリックします。

③ インポートするEメールアドレスまたはグループを選択し、[OK] をクリックします。

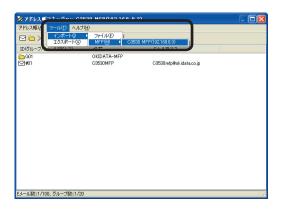
([Shift] キー、[CTRL] キーを使用することにより複数選択が可能です。)

④ インポートするEメールアドレスまたはグループと同じIDのEメールアドレスまたはグループが存在する場合、確認ウインドウが表示されます。

確認ウインドウの [はい] をクリックすると、存在するEメールアドレスまたはグループを上書きします。

[いいえ] をクリックすると、新しいIDでEメールアドレスまたはグループをインポートします。

⑤ ファイルからEメールアドレスまたはグループがインポートされます。

他の MFP から電話帳へインポートする

① ［ツール］メニューの［インポート］-［MFP］-［インポートする装置］を選択します。

② インポートする E メールアドレスまたはグループを選択し、［OK］をクリックします。

（［Shift］キー、［CTRL］キーを使用することにより複数選択が可能です。）

③ インポートする E メールアドレスまたはグループと同じ ID の E メールアドレスまたはグループが存在する場合、確認ウインドウが表示されます。

確認ウインドウの［はい］をクリックすると、存在する E メールアドレスまたはグループを上書きします。

［いいえ］をクリックすると、新しい ID で E メールアドレスまたはグループをインポートします。

④ MFP から E メールアドレスまたはグループがインポートされます。

電話帳をファイルへ書き出す

①［ツール］メニューの［エクスポート］を選択します。

②エクスポート先ファイルを入力し、［保存］をクリックします。

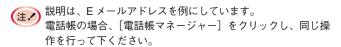
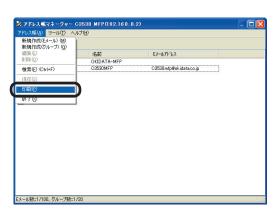
③ファイルに E メールアドレスまたはグループがエクスポートされます。

電話帳を印刷したい

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows XP/Server 2003 以外では［プログラム］）-［沖データ］-［MFP セットアップツール］-［MFP セットアップツール］をクリックします。

❷一覧よりプリンタ名又は IP アドレスを参照して、操作を行う MFP を選択します

❸［設定］メニューの［アドレス帳マネージャー］をクリックします。

説明は、E メールアドレスを例にしています。
電話帳の場合、［電話帳マネージャー］をクリックし、同じ操作を行って下さい。

❹パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❺［アドレス帳］メニューの［印刷］を選択します。

（対象 MFP のプリンタドライバがインストールされていない場合、［印刷］メニューは無効状態となり、選択できません。必ず、プリンタドライバインストール後に印刷操作を行ってください。）

❻［OK］を押して印刷をします。

11 その他

FAX エラーコード／結果コードについて

Fax ツウシンレポートのケッカ欄に、四桁の英数字が表示されます。
その通信がどのような状態で終了したのかを示します。
それぞれの意味は、次のとおりです。

Fax ﾂｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ　　C3540 MFP

2008/01/27 16:44
ID = ｵｷ

ﾓｰﾄﾞ	ﾂｳｼﾝｻｷ	Pin-ID	ﾏｲｽｳ	ｹｯｶ	ﾋﾂﾞｹ	ｼﾞｺｸ	ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	
ｼﾞｭｼﾝ			001	OK <0000>	01/19	16:01	00'08"	
ｿｳｼﾝ	12		001	OK <0000>	01/19	16:08	00'24"	0021
ｿｳｼﾝ	12		001	OK <0000>	01/19	16:10	00'09"	0021
ｿｳｼﾝ	12		001	OK <0000>	01/19	16:11	00'09"	0021
ｿｳｼﾝ	12		001	OK <0000>	01/19	16:26	00'10"	0021
ｼﾞｭｼﾝ			001	OK <0000>	01/19	17:10	00'08"	
ｿｳｼﾝ	12		001	OK <0000>	01/19	17:12	00'10"	0021
ｼﾞｭｼﾝ			001	NG <0001>	01/27	14:52	00'00"	
ｿｳｼﾝ	14		001	STOP <2000>	01/27	14:54	00'00"	
ｿｳｼﾝ	14		001	NG <1005>	01/27	14:57	00'00"	
ｼﾞｭｼﾝ			001	NG <0001>	01/27	15:28	00'00"	
ｿｳｼﾝ	1111		001	NG <00e4>	01/27	15:34	00'00"	
ｼﾞｭｼﾝ			014	NG <00a2>	01/27	15:36	05'47"	
ｼﾞｭｼﾝ			005	NG <6001>	01/27	16:29	09'05"	
ｿｳｼﾝ	11		001	STOP <2000>	01/27	16:42	00'00"	
ｿｳｼﾝ	11		001	NG <1004>	01/27	16:42	00'00"	

結果コード

結果コード	状　況
0000	通信が正常に終了しました。
0001	発呼局が FAX ではありませんでした。問題ありません。
00E4	装置に回線が接続されていませんでした。回線の接続を確認してください。
6001	受信中、メモリオーバーが発生しました。途中以降の受信を依頼してください。
2000	送信をキャンセルしました。
1004	ダイヤルトーンが検出できませんでした。ダイヤルトーン検出をオフにしてください。＊注
1005	相手側が話し中（通信中）であるため、送信ができませんでした。再度、送信してください。
上記以外	なんらかの通信障害が発生しました。

＊注　ダイヤルトーン検出設定をオフにしている場合で、このエラーになる時は、入力した電話番号に「ー」が入っていることが考えられます。
この場合電話番号に「ー」を入力しないことで問題を回避することができます。
詳しくは P18「ダイヤル番号について」を参照してください。

コピー濃度補正をしたい

MFP セットアップツールの濃度補正について

イメージドラムカートリッジやトナーカートリッジ交換時に新しい消耗品に適したコピー時の濃度値に補正を行います。
この機能は、MFP セットアップツールの Ver.1.4.3 以降で対応しています。お使いのツールのバージョンが古い場合は、沖データホームページからダウンロードしてください。

MFP セットアップツールを起動します

❶［スタート］-［すべてのプログラム］（Windows XP/Server 2003 以外では［プログラム］）-［沖データ］-［MFP セットアップツール］-［MFP セットアップツール］をクリックします。

❷一覧よりプリンタ名または IP アドレスを参照して、設定を行う MFP を選択します。

❸［設定］メニューの［カラー調整］を選択します。

❹パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

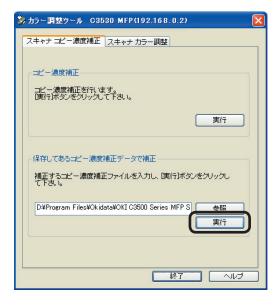
11
その他

❺［スキャナ コピー濃度補正］タブを選択します。

❻コピー濃度補正エリアの［実行］ボタンをクリックする事により、プリンタから現在のCMYK実濃度値を取得し、コピー濃度補正を行います。

❼コピー濃度補正が正常に実行出来た場合、補正に使用した濃度補正データをファイルに保存します。

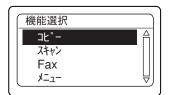
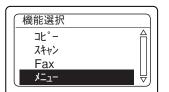
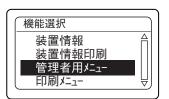
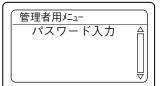
❽ 保存してあるコピー濃度補正データで補正エリアの［参照］ボタンをクリックする事により、ファイルに保存したコピー濃度補正データを選択する事が出来ます。

選択後、保存してあるコピー濃度補正データで補正エリアの［実行］ボタンをクリックする事により、ファイルに保存したコピー濃度補正値で濃度補正を行います。

モデム伝送速度を変更したい

操作パネルからのみ設定変更が可能です。Web ブラウザ、MFP セットアップツールでの設定変更はできません。

ファクス通信時のモデム伝送速度の初期値を設定します。
IP 電話回線でのファクス通信ができない場合は、「モデム伝送速度」を 14.4 Kbps へ変更してください。

設定可能なモデム伝送速度は、以下の通り。

- 33.6 Kbps
- 28.8 Kbps
- 14.4 Kbps
- 9.6 Kbps
- 4.8 Kbps

❶ 機能選択画面を表示していることを確認します。

❷ 操作パネルの キーを 3 回押し、［メニュー］を選択し、 キーを押します。

❸ キーを 2 回押し、［管理者用メニュー］を選択し、 キーを押します。

❹「パスワード入力」と数秒表示した後、パスワード入力画面になるので、次の方法で［aaaaaa］と入力します。

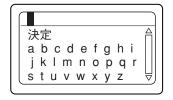
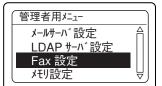
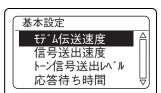
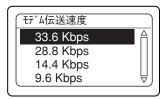
［aaaaaa］は工場出荷時に設定されているパスワードです。

を 2 回押し、［a］を選択し、 を押します。左のような画面になります。

❺ 続けて、（↵）キーを５回押します。（左のような画面になります。＊が６個表示されました。）

❻（∧）キーを１回押して［決定］を選択し、（↵）キーを押します。

❼ 左の画面を表示するので、（∨）キーを数回押して［Fax 設定］を選択し、（＞）キーを押します。

❽（∨）キーを１回押して［基本設定］を選択し、（＞）キーを押します。

❾（∨）キーを数回押して［モデム伝送速度］を選択し、（＞）キーを押します。

❿（∧）キーまたは（∨）キーを使って設定したい「モデム伝送速度」を選択し、（↵）キーを押します。

誤記の箇所と訂正

ユーザーズマニュアル（応用編） 158 ページ「グレースケール」がオフの場合

誤

［設定できる圧縮レベル（モノクロ）］
・ファイル形式が PDF の場合
低（工場出荷時の設定値）
中
高
・ファイル形式が TIFF の場合
RAW（工場出荷時の設定値）
G3
G4

→

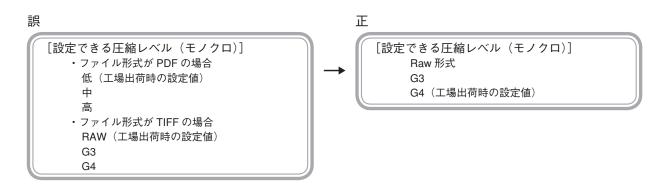
正

［設定できる圧縮レベル（モノクロ）］
Raw 形式
G3
G4（工場出荷時の設定値）

お客様相談センターの連絡先の変更

誤　携帯電話からの電話番号
03-5833-5710

→

正　携帯電話からの電話番号
03-5846-5921

ナンバーディスプレイ契約について

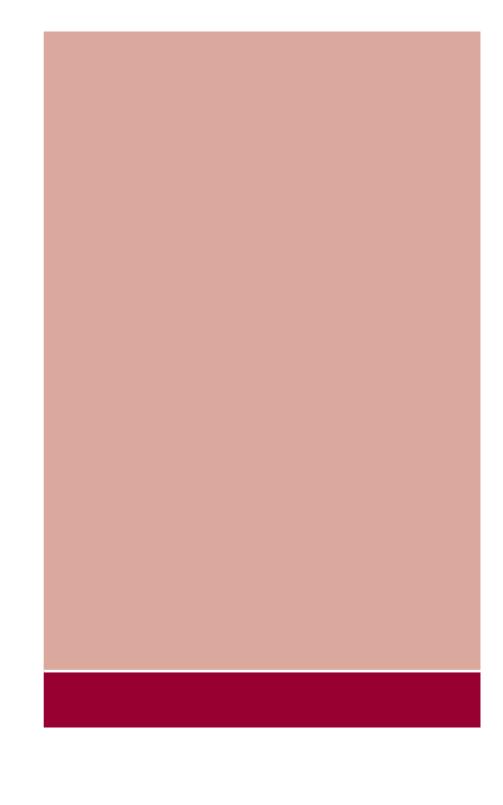
本機はナンバーディスプレイ対応回線に対応していません。本製品をナンバーディスプレイ契約をしている回線に接続し、本機の TEL コネクタへナンバーディスプレイ対応電話機を接続して使用する場合には、本機の「応答待ち時間」の設定を、「10 秒」、「15 秒」、「20 秒」のいずれかにしてください。

設定方法は、ユーザーズマニュアル応用編の 106 ページを参照してください。また、セットアップ編の 77 ページの注記も参照してください。

オキカラーマルチファンクションプリンタ
C3530MFP

ユーザーズマニュアル（補足説明書）

発行日　2008 年 5 月　第 2 版
発行者　株式会社 沖データ

44045401EE

株式会社 沖データ

お客様相談センター
0120-654-632
（携帯電話からは03-5846-5921）

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し 祝日を除く）